

第4号

発行日 平成17年11月10日
発行 東京都合気道連盟
〒162-0056
新宿区若松町17番18号
財合気会内
電話 03-3203-9236
FAX 03-3204-8145
発行人 小山謙二
編集責任者 尾崎聰

合氣道

東京都合氣道連盟広報



平成十七年度

東京都合氣道練成大會

多田宏師範が指導

平成十七年度東京都合氣道連盟、後援 東京都教委

育委員会（財）東京都体育協会（財）東京都生涯学習文化財団東京武道館、（財）合氣会、全日本合氣道連盟）が、九月十日（土）一時三十分から東京・綾瀬の東京武道館で開催された。鍊成大会参加者は東京都合気道連盟に所属する三十四団体、二百三十五名。

講師・多田宏師範が紹介され、鍊成大会がスタートした。

合氣道の「道」について説明があつた後、武道を学ぶ「最初の出発点の心得」「呼吸力と技について」「気を練る訓練」「自分の太勢とくずし」「間合い」「宇宙の智恵と力の使い方」「相手を作らない稽古」「集中力」「呼吸法」「足さばき」「宇宙の心と一体となる稽古」等を実技をまじえて説明された。

開会式は国歌斉唱のあと、小山謙二大会主催による『鍊成大会』が開催される運びとなりました。この大会は（財）東京都体育協会の主催行事であります。そして、本日の講師は（財）合気会本部・多田宏師範です。開祖・植芝盛平翁先生直伝の合気道を学ばれ、海外普及に大きな貢献をなされた経験豊富な多田宏師範です。ご多忙でいらっしゃる多田宏師範のご指導を受けられる機会はめったにありません。皆さんと一緒に、一言も聞きもらす事なく学び、鍊成したいと思います」と挨拶。

来賓祝辞として、（財）東京都生涯学習文化財団東京武道館・古澤公英館長が「本日は第一線で活躍中の皆さんのが東京武道館にて一堂に会して、心身の鍊磨と合気道の技術の向上を目指すと共に各団体相互の親睦をはかる事を目的に大会が開催されると伺つております。このような立派な大会を東京



武道館で開催していただき事は、大変うれしい事であります。東京都合気道連盟は確かな組織力と、各地域の皆様方の地道で確実な活動の積み重ねが、今日 合気道が世界の多くの人々に愛好され、益々、広がりを見せて いる事だと思います。

記念すべき

第五十回指導者講習会

総武館道場三〇周年 稽古会・演武大会

二十五周年記念演武大会 祖師谷合気会

第五十回指導者講習会が六月二十六日（日）合気会本部道場にて開催されました。記念すべき第五十回の講師は藤田昌武・合氣会本部道場指導部師範。参加者は二十九団体、百六十名でした。

今回のテーマは「合気道の△○□について」。



藤田師範は初めに合気道の基本となる「入身、捌き、抑え」の重要性を説明。つづいて「矢筈」に取る事の大しさ。そして「足の運び方」について細かく解りやすく説明。普段、忘れがちの「構え」のポイントを目、足、手、腰の四つの部分に分けて解説。後半は実技に入る前の体捌きである内・外の入身・転身を指導。

時おり開祖・植芝盛平翁先生の思い出話しあり、逸話を披露しながら、二時間の指導を行った。受講した人たちからは「ともすればおざりになりがちな稽古が多い中で、今日のような講習は大変、有意義でした。明日からさっそく実践したい」との声が聞かれた。

（渡谷 力）

総武館道場開設30周年記念稽古会、演武大会、そして記念祝賀会が国立オリンピック記念すべき青少年総合センターで行われました。

杖道の稽古会は9月17、18、19の3日間、松村重緑館長指導のもと国内はもとより海外を含め延べ二五〇名の門弟の参加を得て第四体育館で行われました。また、合気道部の稽古会は9月17、18の両日、遠藤征四郎師範を迎えて第五体育館で行われました。

参加者は総武館道場合気道部を始め関係する一心館道場（茨城）、JR合気道部（東京）、青梅合気会（東京）など、延べ80名が参加。遠藤師範は「肩の力を抜くこと」「腕の力は使わない」等、実技を交えて解説されました。18日は午前11時より午後1時半まで記念総合演武大会が第一体育館で開催され、杖道、各種武道の演武が披露されました。

鹿島神流稲葉稔先生の迫力のある演武の後、合気道遠藤征四郎師範の流れるような演武と続き、最後に杖道松村重緑館長の古流の真髓に触れる素晴らしい演武を拝見することができました。この後、記念祝賀会がレスポンスルームで開催され、各界から多くのご来賓をお招きし、2時間が3時間になるほど和やかに親睦を深め、最後は総武館道場恒例の「武田節」で終了しました。

平成17年10月16日（日）植芝守央道主を迎えて、世田谷の砧区民会館ホールにて、「祖師谷合気会」25周年記念演武大会を開催致しました。

当会は、昭和55年、会長の中村文子さんにより、地元の子供達と合気道が出来る場所が欲しいとの強い一念で、自治会や、区議会議員の平山八郎先生のお力添えを頂き、



砧地区会館で合気道が出来るようになり、「祖師谷合気道同好会」が創設されました。そしてこの創立25周年を機に「祖師谷合気会」と改名致しました。

演武大会は、午後1時より大会会長であ

る平山八郎区議会議員の開式の辞で演武に移り、子供クラス（年少・年中・年長）および大人クラス総勢約200名の会員が日々の成果を発揮しました。

子供クラスでは、我が子の勇姿を収めるためカメラのシャッターを切るご父母の方々が沢山見受けられました。

合気会指導部師範 大澤勇人先生・栗林孝典先生・藤巻宏先生の自由演武、合気会指導部指導部員鈴木俊雄先生・小谷祐一先生の基本演武など盛り沢山の演武披露を頂きとても活気のある大会でした。

最後に、植芝守央道主による総合演武に、会場に詰めかけたおよそ450名の観客も真剣な眼差しで見入っていました。会場からの歓声、感動の拍手が鳴り止まぬ中で、道主に感謝を込めて幼稚園児の福間亜美さんから花束の贈呈があり、大盛会のうちに幕を閉じました。

演武大会終了後には、会場を同ホール3階の高砂の間に移し、記念祝賀会が開催されました。東京都合気道連盟理事長の小山謙二様よりお祝辞をいただきスタートした宴席も、道主をはじめ東京都合気道連盟の皆様および他の道場の皆様の御臨席を頂きました。この後、記念祝賀会がレスポンスルームで開催され、各界から多くのご来賓をお招きし、2時間が3時間になるほど和やかに親睦を深め、最後は総武館道場恒例の「武田節」で終了しました。

（原 美代子）

がんと闘う 武道魂

二郎の合気道場長・石坂さん

手術8度も思い捨てず



道衣に身を包み、弟子たちに
櫻範の型を披靡する石板さん

三鹿市新川4の合掌造の温泉、石垣温泉へ入浴が、全国のがんと癌いながら患者の効いたたむ指導を続けています。27日には石垣温泉開拓周年の記念式典大会を開き、石垣さんも5年ぶりに温泉湯の型を披露する。同時にわざわざ手術を乗り越えた末の唄舞舞台、石垣さんは「新たな一歩を踏み出す姿を、支えてくれた人たちを示したい」と張り切っています。

27日、治療後初の演武会

石原さんは、通場を境内に持つ春暉亭の住職。陶沢人の学生時代、先輩たるがはがま素で授業を聽きにあこがれて、卒業式を始めた。一相手との勝負負けよりも、自分との闘い」という精神にひかれ、のめり込んだ。

大学2年だった1965年、「子どもの体力が落ちて、いる」という調査結果を知り、合氣道教室を始めた。「サッカーや野球に子どもたちをとれてしまう」と嘆きつつも、弟子はいま幼稚園児から70歳近くまで約100人を数える。

病気らしい病氣を経験しながら、かつて石原さんが開拓に興味を持った右脳さんが、2001年11月、されたのは、2001年11月。

「まあだが引っ張られるよ」と痛い」と腹痛を受けたところ、左目の中下に悪性腫瘍が見つかって、手術しなければならなかった。手術されながら、5年の命」と宣告された。

12時間に及ぶ手術で腫瘍は

のためにも生き残らなければ」といふ執念がすごい。道場に入ると到底勝はしく、本当に落胆するが、本堂で落胆しないのが何と感心だ」と微笑む。石城さんは「がんとの間でいを克服出来たのは、増つた合氣道精神のおかげ。今後もその精神を伝えていきたい」と決意している。

記念式典大団は春雷寺で午後一時から開かれた。同寺(倉吉市・44・00033)へ

今は喜がれが過ぎて、体も次第に回復。遅に一時間だけだが、達矢の身を包み、櫻痴演技などの指導も出来てやせこになつた。「今年になら、やりやうと大声が出せるよ」と云つた。

隣が打たれた。左目を失った。
その晩、入退院と手術室を
廻した。
心臓を打たない日々を求める
ため、食事面への配慮が大切
だ。体温の高い時を防ぐと良
い。頭を回す。帽子などの頭
覆を被り寝ねたいため、「もう一度、水分も」という
思いが体の中にわき起つ。

春清寺合気道場（東京都三鷹市）が今年の3月27日（日）、創立40周年を迎えた。植芝守央道主をお迎えして記念式典、演武大会、祝賀会が盛大に行われました。石坂重剛造堤長はガンと闘いながら創立40周年を迎えました。その奮斗ぶりが読売新聞に掲載されました。順応部では読売新聞の二解を傍て、3月19日（土）に掲載された記事を紹介する事にしました。

大田区合氣道会社

創立二十周年



大田区合気道会創立二十周年記念演武大会が十月十六日、大田区南馬込文化センター体育室で盛大に行われた。約二百名が参加した。

木村憲弘理事長が「大田区に合気道が誕生して二十年の歳月が流れました。これからも更なるご理解とご支援を宜しくお願ひ申し上げます」と挨拶。

続いて挨拶に立った尾崎聰会長は「合気道を通じて地域における青少年の育成に寄与したい」と言う考え方から会を発足させました。発足当時、南馬込文化センターには体育室はなく、三階の第一集会室にカーペットを持ち込んでの稽古でした。当時、十一歳だった長男と七歳になつたばかりの次男が、手伝ってくれました。そして、合気道八起会と大田区合気道連盟を組織し、正式に（財）大田区体育協会に加盟しました。

来賓挨拶の大田区教育委員会事務局・大田区社会教育課・柿本伸二課長は「大田区合気道会創立二十周年記念、誠におめでとうございます。沢山の子供達が正座をし、立派に挨拶する姿を見て、深く感動しています。これからも合気道の稽古を通して健全なる身体と精神を養い、元気に明るく稽古して下さい。そして、社会に役立つ人間になつて下さい」と祝辞を述べられた。

演武大会は大田区合気道会・合気道八起会・仲池合気道同好会・(財)合気会西馬込道場・大森第三中学校合気道・東急セミナービ・E合気道の順で進んだ。賛助演武では大田区合気道界の稽古で指導の手伝いをしている駒澤大学合気道部員が若々しい演武を披露。

師範演武では合気道八起会が山田陽也師範・仲池合気道同好会が出口隆義師範・峰岸秀樹師範が演武。

最後に、大田区合気道会の設立者であり、大田区合気道連盟会長の尾崎聰師範が、永瀬哲師範・永田雄一師範を受けに座り技、半身半立技、立技自由技を披露。二時間に及ぶ演武大会は盛大に行われた。

鍼守道場は

五十周年記念



前列左より 小山理事長、五月女貢師範、二代道主・吉祥丸先生、鍼守尊邦道場創始者
二列目左から三番目 故・文徳道場長、

鍼守道場が十一月二十三日植芝守央道主先生をお迎えして創立五十周年記念式典、祝賀会を開催する。鍼守武徳道場主は、次のように喜びを語っている。

半世紀を顧みますと元々教育者であり柔術家の父、鍼守尊邦道場創設者は戦後の荒廃した世相の中に次代を担う若者達に自信と希望を取り戻すべく昭和二十五年道場の再興を計りました。その後昭和二十九年春ある学者の紹介により合気道開祖植芝盛平翁先生に師事する事が出来その「道」と

おわりに一つの信念の基に曲がりなりにも此の一本道を歩み通せた私は今大きな節を迎へて充実感と幸せを覚えます。
これからも生涯の道として精進をかさねる所存ですので尚一層のご指導と温いお心寄せを戴きます事、お願い申し上げます。

(鍼守武徳)

「術」に深く感銘し、ためらいもなく主に柔道生より選抜された合気道研究会を発足させました。又、翌年昭和三十年、年明けには二代道主植芝吉祥丸先生のご理解を得て東京で最初の(財)合気会支部道場として誕生いたしました。以来半世紀、三代の道統の基、初期の十数年は特に二代道主植芝吉祥丸先生、本部師範の山口清吾先生、西尾昭二先生、田村信喜先生、五月女貢先生方にはご指導ご尽力を戴き、お陰様でその後も隆盛の一途を辿つてまいりました。しかし今日に至るまでには父、尊邦道場創建者が大いなる夢を途上に此の世界からも惜しまれながら世を去りました。又、私と共に昭和四十七年新築になった道場に将来を託し二人三脚で奮闘してきました弟、文徳道場長がこれからという時に周囲の期待をよそに短くも旺盛な生涯を駆け抜けてしまいました事。そして記憶に新しい開設以来道場を支えてくれました一昨年の母の他界と、中心を搖るがす最大の苦境を乗り越えてまいりました。

これも偏に父、尊邦道場創設者の「深遠な教育哲理」が基盤となり普遍的に支えてくれたものと確信すると共に、伝統故にか、志を同じくする鍼守生え抜きの優秀な指導者と感性豊かな門弟多数に恵まれての事と感謝いたします。

この日、東京武道館の施設では数多くのイベントが開催された。第一武道場では合気道公開指導が行われた。難波弘之、小谷佑一の指導員が担当した。(登川三樹男)

この日、東京武道館の施設では数多くのイベントが開催された。第一武道場では合気道公開指導が行われた。難波弘之、小谷佑一の指導員が担当した。(登川三樹男)

体育の日 進藤道場が演武を披露

東京武道館(東京練習)主催の体育の日

記念行事、演武発表会が十月十日、東京武道館・大武道場で行われた。この発表会は東京武道館を使用している各団体が一堂に会し、演武を発表するもので、合気道ほか少林寺拳法、剣道など十一団体が出場。日頃の練習の成果を発表した。合気道は東京都合気道連盟を代表して合気道進藤道場が

出場した。進藤道場がこの大会に出場するのは三回目。

プログラムの二番目に出演した進藤道場は十名が座技、半身半立技、基本技を行つた。最後に進藤芳子道場主が応用技、太刀取り、多人数掛けを披露。

新年号の広告を募集しています

◎名刺広告

団体名、代表者、肩書き、住所、電話番号等

巾3cm×高5.5cm程度
1コマ ¥3,000

◎一般広告

企業、商店、ホテル等

巾6cm×高5.5cm程度
1コマ ¥8,000
横連続 2コマ ¥16,000
横連続 3コマ ¥24,000

第51回指導者講習会開催のご案内

「第51回指導者講習会」を下記要項により開催します。

日 時 平成18年2月26日(日)
所 催 (財)合気会本部道場
主 東京都合気道連盟

渡邊信之 師範

講 師	午後 1時30分 2時15分 2時30分~4時00分 4時30分~5時30分
時間割	1時30分 2時15分 2時30分~4時00分 4時30分~5時30分
参 加 資 格	当連盟加盟団体の会員
参 加 費	2,500円(当日受付)

付合
受集
講懇親会

◎鍼守道場が創立50周年、春清寺合気道場が40周年、植武館道場が30周年、祖師谷合気道場が25周年、大田区合気道会が20周年。お目出たい事です。益々のご发展とご活躍を心からお祈り申し上げます。(尾崎謙)